

薬事委員会記録

日 時：平成 29 年 9 月 7 日(木) 16 時 00 分
場 所：医学部 1 階 小会議室
出席者：伊藤、鶴見、吉倉、早崎、田中、川瀬、西堀、中島、田辺、畠山、北川、馬場、鈴木、
玉井、安田(浩)、小森、名和
代理出席者：伊藤〔2 内科〕〔がんセンター〕、川本〔小児〕、浅野〔放射線部〕
委任状提出：加納、加藤、白上、久保田、山口
欠席者：諏訪、池田、村瀬、山口、江頭、安田(満)、長瀬、紀ノ定、荒木、吉田、堀川、
佐々井、笹井、塚田

記録の承認

平成 29 年 6 月 1 日開催の薬事委員会の記録を承認した。

協議事項

1. 医薬品の採用について

13 品目（ノベルジン錠 50mg、スピオルトレスピマット 60 吸入、ザルトラップ点滴静注 100mg・同 200mg、フィコンパ錠 2mg・同 4mg、シクレスト舌下錠 5mg、カロナール錠 500、イブプロフェン錠 100mg「タイヨー」、エスクレ注腸用キット「500」、献血ポリグロビン N10% 静注 5g/50mL、コロンフォート内用懸濁液 25%、スインプロイク錠 0.2mg）の採用を承認した。

2. 医薬品の継続試用について

5 品目（ビムパット錠 50mg・同 100mg、シダトレンスギ花粉舌下液 200JAU/mL ボトル・同 2,000JAU/mL ボトル、リクラスト点滴静注液）の継続試用を承認した。

3. 医薬品の新規試用について

7 品目（ロコアテープ、エビリファイ持続性水懸筋注用 400mg、ナルサス錠 2mg・同 6mg、ナルラピド錠 1mg、ザイザルシロップ 0.05%、オプチレイ 350 注シリンジ 135mL）について、申請診療科および薬剤部より説明された後、新規試用の承認可否について投票を実施した。その結果、原案通り全て承認した。

4. 医薬品の採用中止について

7 品目（アルタットカプセル 75mg、スルピリド錠 100mg「アメル」、ビジクリア配合錠、ペリアクチンシロップ 0.04%、セレベント 50 ディスカス、ボルタレンテープ 15mg、オメガシン点滴用 0.3g）の採用中止を承認した。

5. 後発品切替医薬品について

レバミピド錠 100mg「エーザイ」からレバミピド錠 100mg「オーツカ」への切替については出席委員および委任状を提出された委員の総数の 2/3 の可票を得られなかった。

6. 同効薬の販売中止に伴う変更医薬品について

カイトリル細粒 0.4%からグラニセトロン内服ゼリー 2mg「ケミファ」への変更について承認した。

報告事項

1. 院外採用医薬品に関する薬事委員会 WG での決定事項

①医薬品の院外採用について

14 品目（エフィエント錠 3.75mg、ホリナート錠 25mg「タイハウ」、ヤーズフレックス配合

錠、テクフィデラカプセル 120mg・同 240mg、クラシエ半夏厚朴湯エキス錠、クラシエ白虎加人参湯エキス錠、タフィンラーカプセル 75mg、メキニスト錠 2mg、コムクロシヤンブー0.05%、コセンティクス皮下注 150mg ペン、インチュニブ錠 1mg、エビリファイ内用液 0.1% 1mL/包、タペンタ錠 100mg) の院外採用を報告した。

②医薬品の採用中止について（同効薬の見直しに伴う中止）

7 品目（MS コンチン錠 30mg、オプソ内服液 10mg、ピートルチュアブル錠 250mg、プレタール散 20%、ユーゼル錠 25mg、パンドルローション 0.1%、ラクティオンパップ 70mg 10×14cm）の院外採用中止を報告した。

③緊急購入医薬品の登録について

救急で治療が必要な医薬品 13 品目（アイクルシグ錠 15mg、ムンデシンカプセル 100mg、ステラーラ点滴静注 130mg、アトロベントエロゾル 20μg、メファキン「ヒサミツ」錠 275mg、タイサブリ点滴静注 300mg、ザイヤフレックス注射用、オテズラ錠 10mg・同 20mg・同 30mg、タフィンラーカプセル 75mg、メキニスト錠 2mg、カーバグル分散錠 200mg）、継続投与が必要な医薬品 5 品目（ルナベル配合錠 ULD、レルベア 100 エリプタ 30 吸入用、ツムラ苓桂朮甘湯エキス顆粒、ストラテラカプセル 10mg、ツインライン NF 配合経腸用液）、計 18 品目の緊急購入の登録を報告した。

④製剤変更医薬品の登録について

4 品目（リリカ OD 錠 25mg、リリカ OD 錠 75mg、リリカ OD 錠 150mg、レミッチ OD 錠 2.5μg）の製剤変更を報告した。

2. 販売中止医薬品について

1 品目（セロトーン錠 10mg）の販売中止を報告した。

3. 製剤変更医薬品について

2 品目（アクチット輸液 500mL、ヴィーン D 輸液 500mL）の製剤変更を報告した。

4. 銘柄変更医薬品について

3 品目（ソセゴン注射液 15mg、シエルガン 0.5 粘膜弾性剤）の銘柄変更を報告した。

その他

1. 医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況について

医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況を平成 29 年 6 月に評価したところ、C 評価の項目はなかったとの報告がされた。

2. 最適使用推進ガイドラインについて

新規作用機序医薬品の最適な使用を進めるための最適使用推進ガイドラインに基づいて作成したそれぞれの薬品の対象疾患毎の適用に関するフローチャートを承認し、オンラインマニュアルに掲載したことを報告した。

3. 高額医薬品の管理について

近年高額医薬品が増加してきたため、不良在庫医薬品とならないように使用予定患者が決まったら、予め薬剤部に連絡をしていただき、準備することとした。

次回薬事委員会の開催日時は、平成 29 年 12 月 7 日(木)とした。